

やりがいを求め就農

新城設楽農林水産事務所農業改良普及課

氏名	伊藤 光史朗さん
経営類	施設野菜（イチゴ）
市町村	新城市



伊藤 光史朗さん

1. 経営概要

- (1) 経営規模 施設 20a
- (2) 労働力 家族2名（本人、妻）、
パート8名
- (3) 販売 市場出荷

2. 就農までの経緯

名古屋市出身でこれまで農業と関わる仕事はしていませんでしたが、新城市の積極的な就農希望者支援の取組を知り、現地説明会に参加しました。妻が就農に前向きだったこともあり、就農を決意しました。

平成30年から先輩農家のハウスで1年間研修を受けました。栽培技術は、先輩農家やJA職員、普及指導員に教わり、令和元年9月にハウスをリース契約して、イチゴ経営を開始しました。

3. 現在の取組

現在は主に市場出荷をしています。就農3年目なので、まずは収量を安定させるため、病害虫を出さないように管理作業を徹底しています。将来はこだわりを持って農業に携わっていきたいと思います。また、昨年度は小さい果実ばかりができてしまい、収穫作業が大変なうえに収益性も低く苦労しました。今年はしっかり摘果をし、大きな果実が育つようにしています。

4. 今後の抱負

今、最も重要なことは技術力を高めることだと思っています。ありがたいことに、今でも部会の先輩が私のハウスを見に来てくれた時に、アドバイスをもらっています。今のところ、規模を拡大する予定はないので、現在の規模で売り上げを伸ばし、より効率的になるよう作業性を高めて、安定した経営を実現したいです。



摘果の様子